

桜樹

SAKURAGI



日本大学医学部附属看護専門学校
〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町71番12号
TEL. 03 (3972) 8134 FAX. 03 (3973) 2701
E-mail. nkango@med.nihon-u.ac.jp



✧ 会長挨拶

会長就任のご挨拶

第1学科19回生 会長 和田佳子

同窓生の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。この度、日本大学医学部附属看護専門学校同窓会「桜樹」の会長に就任いたしました19回生の和田佳子と申します。まずは、これまで当会の基礎を築いてくださった駒木根前会長はじめ役員の方々に感謝申し上げます。前会長の後を引き継ぎ、皆様のご支援とご協力のもと、役員の方々と「桜樹」の発展に尽力してまいります。私は日本大学医学部附属板橋病院の産科で助産師として勤務した後、看護短大と四年制大学で母性看護学と助産学の教育を経験し、現在は総合大学の看護学部で母性看護学領域の教員をしております。平成28年度からは、医学部看護学科設置検討委員会に関わらせていただいています。

現在、医学部附属板橋病院の建て替え計画が再検討になったとお聞きしています。看護専門学校は建物の耐震補強計画に伴い、引っ越しをいたしました。詳しくは看護専門学校副校長の大橋先生よりご説明いただきます。大変な状況の中で教員の方々は看護教育に携わっていらっしゃいます。同窓会「桜樹」から、車椅子、ワゴン、パルスオキシメーターを寄贈いたしました。演習や実習の充実化につながれば幸いです。

日本大学における看護学科の新設についてですが、医学

部看護学科設置検討委員会は今年度も継続しております。5月には委員会が開催されましたが、看護学科設立については進捗がなく皆様にお伝えできないのが実情です。現在、地域包括ケアシステムの構築を目指した看護展開がされていますが、日本大学では昭和50年代より大学病院からの訪問看護を実施していました。また、看護専門学校では、日本大学医学部附属板橋病院および駿河台日本大学病院（現日本大学病院）を中心に、看護学実習を重視してきました。当時から地域に目を向け、看護実践能力を大切にしてきた日本大学での看護実践および看護教育を、大学教育でも活かすことができることを切に願っております。

本会誌では、同窓生の方々のご活躍を報告させていただいております。ご高覧くださいますようお願い申し上げます。これまでに構築された事業を継続するとともに、少しずつ同窓会活動を進めることができたらと考えております。同窓生の皆様の親睦が深められる交流の場をつくるとともに、母校の発展に少しでも寄与できるよう努力して参りますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



ホームページに最新情報を随時更新しております。
住所変更もこちらからお願い致します。





＊前会長挨拶

会長を交代して思うこと

第1学科9回生 駒木根 由美子

2011年から2022年まで「桜樹」の同窓会会長を務めました駒木根です。

現在の会長である和田佳子さんより今回は、「卒業生の一人として同窓生にメッセージを込めたご挨拶をいただきたい。」との依頼がありましたので、ご挨拶させていただきます。

日本大学医学部附属看護専門学校は、令和5年度からCOVID-19の影響も軽減し、ほとんどの授業を対面で実施していると伺いました。詳細は他の方からご説明があると思いますが、病院・看護専門学校共に老朽化のため、一部補強をするために引っ越しをして授業を行っているということでした。授業をしながらの引っ越しで大変なことだと思っております。

さて私が会長を務めてきました2012年から看護大学設置について医学部の諸先生方、日大大学本部の方とも何回か会議を開催してまいりました。この間に季羽 倭文子先生をはじめ、教員をされていた諸先輩の皆様、卒業生の皆様の御協力をいただき活動してまいりましたが、いまだに諸事情により明確な方針等は出されておられません。しかし現在においても、看護の4年制に向けて委員会を開催している

と伺いましたので、期待しているところであります。

卒業生会が同窓会としてできることは何か？と考えると、先ほどから述べております大学化への道を日大本部・医学部の協力を得ながら進めていくことはもちろんですが、これから看護師を目指している看護専門学校の学生の方々への支援も大切であると思っております。できる限りスムーズに学生生活を送ることができますように考えていかなければなりません。

私事ではありますが、現在におきましてもケアミックス型の病院でお手伝いをしているところです。先日1回生の会員の方と連絡を取ることがありました。その方もまだお仕事をしており、「頑張って！」と私が叱咤激励をされました（凄いことです！）。私たちの仕事は、人の健康を促進し、病んでいる方のケアを行うことです。いつの時代においても看護の仕事は必要とされているのですから、無理せず自分の体調に合った形で看護に携わっていきたいと思っております。

COVID-19の影響で、同窓会を開催しておりません。近いうちに開催していただき、皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

＊副校長挨拶

日本大学医学部附属看護専門学校の現況

副校長 大橋 初 枝

日本大学医学部附属看護専門学校同窓会「桜樹」の皆様には、日頃から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、この度新同窓会長になられました和田佳子様、ご就任おめでとうございます。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

令和3年9月に本校の現況をお伝えして2年が過ぎようとしております。前回の時は新型コロナ感染症の影響を受け、試行錯誤を繰り返しながら看護基礎教育の質を維持し、臨地実習の経験が少なくなってしまう学生の不安を少しでも軽減できるようにと、教員一同努力をしてきたことをお伝えできたかと思えます。また、前任の駒木根由美子同窓会長のもと

「桜樹」より、本校の現状を鑑みてノートパソコンやパルスオキシメーターのご寄付をいただき、現在も講義・実習に大切に使用させていただいております。ありがとうございました。

さて、令和4年度から新カリキュラムの運用が開始されました。1年次には「地域・在宅看護論」の科目の中で、板橋区内の地域踏査を行い人々が生活している住居や街並み暮らしぶりを実際に観察し、地域の特性を把握しています。2年次には臨床判断能力に必要な基礎的能力の強化として「生活と形態機能」という科目を新設し、解剖・生理学の知識を活用し生活行動の枠組みから「からだ」の機能を捉える学習をしています。また、臨地実習の時期を早め、

1年次の12月に基礎看護学実習Ⅰ（日常生活の援助）を、2年次の7月に基礎看護実習Ⅱ（看護過程の展開）を行います。さらに、3年次から開始していた領域実習を2年次の1月下旬から開始します。臨地実習の場も拡大し、日本大学認定こども園や精神看護学では就労継続支援施設での実習も行う予定です。

次に、看護専門学校の一部の移転をお知らせいたします。令和5年2月にホームページにて、本校の1号棟は築50年以上の建物であり耐震補強の必要性があるため、立ち入り制限する旨のお知らせをしておりますので、同窓生の皆様方には大変ご心配をおかけしていることと思います。現在、教務室や学生のロッカールームは旧学生寮（看護師寮）へ移転しました。講義は医学部の教室で行っており、第1実習室は医学部図書館棟の地下1階（旧学生食堂）に移転し、少し狭くなりましたがシミュレータールームを設置しいつでも学習できるようにしました。さらに、旧学生寮の個室という点を活かし演習室（23部屋）と自習室（10部屋）を設置し、自己学習できる環境を整えました。

引き続き、教員一丸となって、日本大学医学部附属看護専門学校の卒業生として胸を張って卒業できる看護師の育成に邁進したいと考えております。同窓生の皆様方には、本校の

教育活動への一層のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年度も同窓会「桜樹」よりパルスオキシメーター30個と車椅子6台、折りたたみワゴン3台を寄贈いただきました。多くのご寄付をいただき感謝申し上げます。大切に使用させていただきます。

同窓会「桜樹」のますますのご発展をお祈りいたします。



パルスオキシメーター



折りたたみワゴン



車いす

トピックス 同窓生からの近況報告

つながる輪 ひろがる支援

第1学科

18回生 齊藤 みちよ	23回生 廣瀬 由美子
25回生 和田 万里	25回生 村山 寿江

桜樹の会員の皆様、健やかに過ごしてでしょうか。新型コロナウイルス感染の流行により、当たり前が当たり前でないことに気づかされ、看護や看護教育の在り方についても、変革を求められる3年間だったのではないのでしょうか。

今回は、日大板橋病院の患者支援センターをご紹介します。卒業生の皆様にはホームケア相談室のほう馴染みがあるかもしれませんね。季羽倭文子先生が、イギリス研修で訪問看護と出会い、1975年に訪問看護室を立ち上げて、当時初めて大学病院からの訪問看護を始めました。病や障害を持って、介護が必要となっても、そこに上手に医療を組み合わせ、地域の中で暮らし続け、人生を終えていくことができる。その思想は、今でも私たちに受け継が

れております。超高齢化社会を迎え、治す医療から支える医療へと、医療自体も変容を求められています。私たちも、患者支援センターとして生まれ変わり入退院を多職種で支援



し、地域医療・介護・福祉・行政と連携できる部署へと機能を拡大して活動しています。

今回の新型コロナウイルスの流行により、患者さんご家族は、これまでの暮らしかたや最期の時をどう迎えるのか考えざるを得ない状況でした。先日、退院して人生の最期をご自宅で迎えられた方のご家族が会いにきてくれました。入院中は毎日不安で涙していた患者さんでしたが、家では桃を食べながら、にっこりと手を振っている動画をみせてくれまし

た。そして「最期の時間を家族と一緒に過ごせてよかった。ありがとう。」というお言葉をいただきました。

長年看護師を続けられるのは、こういう瞬間に立ち会えるからなのだと感じました。そして、この状況を支えてくれたのは院内だけではなく、地域医療・介護の皆様の協力があったからです。今年は「つながる輪、ひろがる支援」をスローガンに活動しています。卒業生の皆様とのつながりも広げていければと考えております。

私の看護の道を振り返って ～フットケア外来を歩んで～

平成5年に看護専門学校を卒業し、駿河台日本大学病院に勤務すること30年が経ちました。手術室に配属され毎日が未知の世界でワクワクしていたのを覚えています。出産を機に6年目に外来に異動し、患者様との接し方を学ぶことが出来、同時に様々な疾患、症状、治療について知識を身につけられたことは外来勤務のおかげだと自負しています。

平成22年に、当時院長であった小川節郎先生の呼びかけで、新病院でのより良い病院づくりのために数々のワーキンググループを立ち上げることになり、心臓血管外科の医師とWOC看護師が中心となりフットケア外来を開設することになりました。フットケア外来を実現させるために、何が足りないか、どうすれば開設出来るかを話し合い、他病院のフットケア外来を見学に行き、専従の看護師になるために糖尿病重症化予防の研修を受け、平成23年2月にフットケア外来を開設することが出来ました。

フットケア外来は、主に糖尿病患者の足を守る、下肢救済の目的で行われています。糖尿病が進行すると、視力低下で自分の足爪が切れない、下肢の血流が悪くなって傷が治らない、神経障害で胼胝や傷が出来ても痛みを感じない、気が付くと足を切断しなければならぬほどの潰瘍、感染を起こすなど、他者が関わって予防をする必要があるため、糖尿病足病変の指導、生活指導、セルフケア指導、爪切り、胼胝削り、潰瘍の処置を行っています。

開設後は爪切り、胼胝削りなどの予防的な治療をしていましたが、フットケア外来が院内に広まっていくと、糖尿病足潰瘍、透析患者の下肢虚血による潰瘍が増え、血流評価で問題があれば循環器、骨髄炎など整形外科、白癬の診断に皮膚科と集学的な治療を行っていきま

第1学科26回生 田中由紀子(旧姓 馬場)

その中で虚血の方が巻き爪で潰瘍が出来てしまうことが続き、どうにか出来ないのかと悩んでいた時に、フットケア学会で実演していた巻き爪の治療に出会い、絶対に取得すべきと思ひ足爪補正士の免許を取りました。フットケア外来の中で巻き爪治療を行っていましたが、患者も増え、時間もかかるため、皮膚科外来で爪外来を開設し、自費診療で巻き爪の治療を行うことになりました。高齢者の足爪には異常が多くみられ、巻き爪、肥厚爪、さらに本人・家族が爪を切れずに放置されていることが多く、病棟からも爪が伸びすぎて靴が履けず、リハビリが出来ないというコンサルテーションもあります。化学療法室からは薬の副作用で足爪が剥離して膿が出ているなどの相談も受けています。巻き爪で歩けないほどの痛みで来院し、治療後に痛みがなくなった時には「うれしいからハグさせて」と言われた時には、治療をやってきて良かったとうれしく思いました。必要とされる間はまだまだ頑張っていきたいと思います。

現在は31年目で初めての病棟を経験させてもらっています。若いスタッフに囲まれ、自分も若返った気分で、私に何が出来るのか模索中です。大谷選手ではないですが、フットケア外来にも行かせてもらい二刀流で頑張っています。



フットケアチーム (右: 田中さん)

小児科看護の視点から支える子どもの育ち

株式会社アンミッコ 第1学科19回生 山賀路子

もし来世があるのなら、私はまた小児科ナースを希望いたします。皆様はいかがでしょう。19期生として日本大学医学部附属看護専門学校を卒業後、日本大学板橋病院の小児外科病棟で勤務いたしました。2年目の時、私は忘れられない失敗の経験があります。末期の肝芽腫の8歳の女の子Aちゃん。腹水貯留が進み、オーバーベッドテーブルに両手をつき肩呼吸の状態。ある朝、個室にひとりでいたAちゃんに検査の説明をすると、「検査なんてしたくない！どうせもう死んじゃうんだから！」と声を振り絞り私に訴えてきたのです。未熟な私は肯定すべきか否定すべきかわからず、言葉に詰まり何も言わずに部屋を出てきてしまったのです。Aちゃんの気持ちが吹き出した瞬間だったのに、それを母親に伝えることすらせず、ほかの仕事にかき消されてしまったのです。その後「死」についてAちゃんは語ることはないまま1か月後に亡くなりました。これは私にとって忘れられない、心の痛い出来事となりました。臨床5年経験後に日本看護協会研修学校で教育の学びをす

た。卒業後、小児内科病棟へ戻りますが学ぶことが面白く、また心理を学べばまともなナースになれるかと大学へ進学。その経験は私の視野を広げる機会となります。卒業後はフリー（主に小児）の看護教員として母校やその他の学校や病棟を担当いたしました。色々な視点から看護教育をみつめると、私は学生時代に看護の原点を丁寧に培ってもらったと、日大看護専門学校の卒業生であることを改めて誇りに感じています。

現在は、練馬で「アンミッコ」という2つの認可保育園を運営しています。各園60人で合わせて120人の子どもたちと60人の職員たちです。18年前に小さな規模でスタートし何度も大きな壁にぶつかりながら歩んでまいりました。集団生活が可能な疾患や障害を持つ児も一緒に育ち合いを目指しています。子どもたちには失敗を恐れずに挑戦をして欲しい。「真のたくましさ」と「真のやさしさを育む」ことを基本理念とし、ナースの視点で保育士とともに子どもたちの人生の土台作りのサポートをすることを私の人生の課題としてまいります。嬉しいことに、数人の看護学校同窓生や日大職員のお子様もお預かりしています。

今の私なら、Aちゃんに「そう思うだね。苦しいね」とその気持ちに寄り添い心を通わせた上で、必要な看護を考えることができるのではないかと思います。Aちゃんに人生の原動力を与えてもらった私です。

この写真は園庭にある挑戦する遊具です。職員たちと研修を受け子どもたちにどう育てて欲しいかどんな環境が必要かを考え、専門家の指導の下、職員自ら材木を切り作ります。



◆◆◆ 役員紹介 ◆◆◆

役 職	役 員	
会 長	和 田 佳 子 (第1学科19回生)	
副 会 長	木 根 久 江 (第2学科6回生)	佐々木 純 子 (第1学科29回生)
会 計	橘 厚 子 (第2学科6回生)	羽場崎 直 美 (第1学科29回生)
会計監査	小金澤 京 子 (第1学科21回生)	中 村 洋 子 (第1学科30回生)
書 記	山 田 尚 子 (第1学科16回生)	田 辺 幸 子 (第1学科35回生)

自己紹介 田 辺 幸 子 (第1学科35回生)

はじめまして、35回生の田辺幸子と申します。この度、桜樹の書記を担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。日本大学医学部附属看護学校を卒業してからは、日本大学病院（旧駿河台日本大学病院）で働いております。現在は、キャリア開発支援室に所属しており、主に新人看護師の教育担当をしております。同窓会の書記として、皆さんの思い出を大切に、楽しい交流の場を提供できるように尽力いたします。

◆◆◆ 評議員名簿 ◆◆◆

回 生	氏 名	旧姓	回 生	氏 名	旧姓	回 生	氏 名	旧姓
1科1回生	丸 山 文 代		1科28回生	家 村 摩 美	石井	1科50回生	中 原 垂 紀	
1科2回生	上 島 恵 子	野田	1科29回生	羽場崎 直 美			橋 本 夢 実	
1科3回生	荻 原 彩 子	伊丹	1科30回生	中 村 洋 子	諏訪部	1科51回生	亀 井 さよ子	
1科4回生	根 本 紀 子	相沢	1科31回生	清 水 佳 代		1科52回生	針 谷 涼 乃	
1科5回生	仁 木 孝 子	有田	1科32回生	矢 作 祥 子			吉 澤 翔太郎	
1科6回生	小 川 すみえ	萩原	1科33回生	清 谷 恵美子	秋元	1科53回生	石 倉 まりも	
1科7回生	石 塚 綾 子		1科34回生	石 井 幸 子	木田		稲 田 英 恵	
1科8回生	武 和 江	千葉	1科35回生	西 谷 香 織		1科54回生	麓 実 侑	
1科9回生	水 野 とよ子	高木	1科36回生	菅 沼 文 香	西澤		寺 西 風 花	
1科10回生	岩 本 信 子	林	1科37回生	比 嘉 友 梨	新里	1科55回生	小 島 巧	
1科11回生	吉 田 明 子	千田	1科38回生	植 松 陽 子			生田目 詩 麗	
1科12回生	友 木 乃里子	友木	1科39回生	秋 野 さやか		1科56回生	安 藤 拓	
1科13回生	作 田 和 子	土井	1科40回生	滝 澤 裕 子			鈴 木 杏 奈	
1科14回生	佐 藤 美貴子	石沢	1科41回生	重 田 梢		2科1回生	工 藤 たみよ	菖浦
1科15回生	阿 部 淳 子			森 永 絵理子		2科2回生	梶 英 子	藤本
1科16回生	山 田 尚 子		1科42回生	檜 崎 淳 子		2科3回生	松 井 美千代	三吉
1科17回生	井 上 やよい	田中		石 川 愛		2科4回生	柳 田 郁 美	花岡
1科18回生	鈴 木 幸 代	永島	1科43回生	原 佳 江		2科5回生	北 澤 栄 子	
1科19回生	中 山 みどり			松 下 翔		2科6回生	橘 厚 子	岩川
	大河原 奈津子	香川	1科44回生	安 達 雪 世		2科7回生	鈴 木 早 苗	
1科20回生	小笠原 美 紀	田浦		間 宮 美 穂		2部1回生	永久欠番	
1科21回生	宮 本 仁 美		1科45回生	宮 内 茜		2部2回生	田 中 ふみ子	今井
1科22回生	小 林 由加子		1科46回生	渡 邊 雅 美		2部3回生	小 沼 要 子	佐藤
1科23回生	高 野 正 子		1科47回生	長谷川 宣 宏		2部4回生	野 村 峰 子	佐久間
1科24回生	谷 口 佳 代			中 原 早 紀		2部5回生	宮 島 邦 子	
1科25回生	和 田 万 里		1科48回生	堀 井 佐知子		2部6回生	日 原 憲 子	
1科26回生	菅 原 紀 子		1科49回生	菊 地 美 咲		2部7回生	中 野 喜代子	大平
1科27回生	吉 田 美由紀	大野		橋 本 愛 美		2部8回生	貝 沼 成 子	

同窓会開催報告

第1学科16回生 同窓会

16回生の山田尚子と申します。

コロナが5類になり、ようやく活動範囲が拡大した今年、久しぶりの同窓会を開催しましたので報告いたします。

私達16回生は、幹事の地元で同窓会を開催するという企画で、今年6月に福岡にて開催しました。コロナの影響で出かけられなかったうっぷんを晴らすかのように、久しぶりに会えたみんなの笑顔が眩しいこと眩しいこと…。

料理の美味しさはもちろんですが、みんなの笑顔にいやされつつ話が弾んであっという間に時間が過ぎてしまいました。

一次会だけでは物足りず、ほとんどのメンバーで太宰府天満宮に繰り出し、お参りをした後は梅が枝餅をほおぼりながら散策しました。博多に戻ってからは有志で中州クルーズに乗船し、船から対岸の景色や福岡タワーを見たり、別れがたく夕食を共にしたりして時間の許す限り話し、楽しみつくしました。

本当に楽しい時間はあっという間でしたが、2年後には東北の地での再会を約束しました。

皆様にも写真から楽しさをお届けできれば幸いです。



◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

皆様、こんにちは。

コロナウイルス感染症が第5類に移行し、日常生活も少しずつ戻ってきましたね。そんな中、久しぶりに同期会を開催した卒業生の方々がいらっしやると聞きました。会って食事ができるというのは本当に素敵ですね。さて、桜樹の総会についてですが、6年ぶりに開催することを計画しています。時期は令和6年の秋頃を予定しています。詳細については決まり次第皆様にお知らせさせていただきます。お互いの近況報告を笑い声、笑顔に包まれながらできることを楽しみにしています。ぜひ、お時間を作って、ご参加ください。皆様にお会いできることを心から楽しみにしています。

[桜樹]のホームページについて

日本大学医学部附属看護専門学校の公式ホームページ「卒業生の方へ」に
[桜樹]の活動や会報を掲載しております。

そちらを是非ご覧ください。

www.med.nihon-u.ac.jp/nunc_2nd/

日大看護専門学校

検索

The screenshot shows the '卒業生の方へ' (For Graduates) page of the Nihon University Nursing School. The page features a navigation menu on the left with links to '学校紹介', '本校の特徴', '学校説明会', '入試案内', '卒業生への進学支援制度の利便性について', 'カリキュラム', 'キャンパスライフ', '先輩の声', '留學試験について', 'Q&A', 'お知らせ', '卒業生の方へ', and '職員専用'. The main content area is titled '卒業生の方へ' and includes a sub-section for '卒業生会（桜樹）'. It provides information about the alumni association and lists the school's history from 1940 to 2013, including the establishment of the first and second departments of nursing and the transition to a university-level nursing school.

同窓会開催報告のお願い

同窓会を開催しましたら、回生、開催日時、場所、集合写真、コメント（1,000文字程度）を上記看護学校のホームページ「卒業生の方へ」よりお送りください。

med.sakuragi@nihon-u.ac.jp に直接ご連絡いただいても構いません。会報でご紹介させていただきます。

住所変更等のご連絡について

住所変更等ご連絡は、看護学校のホームページにも記載があります。

med.sakuragi@nihon-u.ac.jp までご連絡ください。



発行

令和5年12月

編集・発行

日本大学医学部附属看護専門学校 卒業生会[桜樹]